

令和2年度教育長定例記者会見

2020. 7. 20@消防庁舎 関係課会議室

(所信表明)

さいたま市教育の

新たなるチャレンジ

～困難を乗り越える教育の力を信じて～

さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美



再任のあいさつ

■ 1 期目：チャレンジの日々

- 「チーム教育委員会」「チームさいたま市教育」を掲げ様々な施策にチャレンジした
- PLAN THE NEXT 3つのG（Grit,Global,Growth）で日本一の教育都市へ
- 第2期さいたま市教育振興基本計画策定

■ 2 期目：種を蒔いたことに花を咲かせる

- Withコロナ、Afterコロナの時代にどのように第2期さいたま市教育振興基本計画を進めるか
- 「GIGAスクールさいたまモデル」の実現
- 「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト
- 「2020新たな重点プロジェクト」へのチャレンジ

第2期さいたま市教育振興基本計画

■さいたま市教育ビジョン(2019～2028)

○本市の教育がめざす人間像

世界と向き合い未来の創り手として輝き続ける人

○基本理念

人生100年時代を豊かに生きる

「未来を拓くさいたま教育」の推進

■教育アクションプラン(2019～2020)

○5つの基本的方向性に基づき61の施策に取り組む

→財政の厳しさは目に見えている

→知恵を出しこれだけは進めるという明確な意志決定が重要 Withコロナ、Afterコロナ時代にふさわしい推進の仕方を模索

「GIGAスクール構想」の実現の加速化

■ 「GIGAスクールさいたまモデル」の実現

- 2020年度内に高速大容量の通信ネットワークの整備及び10万人の児童生徒1人1台端末の整備
- 多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化され創造性を育む教育ICT環境の実現
- 「教育DX」を推進するプロフェッショナル人材との協働で「GIGAスクールさいたまモデル」の実現



→第2波が襲ってきた場合も
学びを止めない!

「GIGAスクールさいたまモデル」

■ 「1人1台端末」を活かした学びの変容



ステップ1
“すぐにでも” “どの教科でも”
“誰でも”活かせる1人1台端末

ステップ2
教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

ステップ3
教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす。

**これまでなかなか進まなかった
学びのパラダイムシフトが起こる！**

「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト

■持続可能で質の高い教育環境の整備

- 義務教育学校の設置などによる学校の適正規模化と教育の質的向上
- 学校施設の機能性・合理性の向上
- 地域コミュニティの核となる学校づくり
- 人生100年時代を見据えた教育環境整備

→生涯にわたる質の高い学びの提供 選ばれる都市

→環境整備の財政負担 機能性合理性の向上が必要



「2020新たな重点プロジェクト」へのチャレンジ

■自律性を育む「探究的な学び」の推進

- さいたまSTEAMS教育（教科横断型探究学習）
- ICT を活用したアクティブ・ラーニングとプログラミング教育の推進
- 読解力向上教育のためのPlan The Next
- 168校のSDGsの取組 ○主権者教育の推進
- さいたま市KIDS郷育MOVIEプロジェクト
- ISSからセーフ・コミュニティへ 等

- 実社会にある課題と向き合い、新しい価値を生み出すことができる思考力を育成
- 昨年度中に先行して取組む研究指定校を決定し、各領域ごとに研究をスタートさせている

WithコロナそしてSociety5.0時代の教育

■「教育DX」が一気に加速

○「学校」のあり方が大きく変わる

→対面の授業とデジタル授業のハイブリッド型で
発達段階に合わせたベストミックスを探る

○学校教育における本当に「必要なこと」が明確に
なり始めた→働き方そのものが大きく変わる

■価値観の大きな転換の中でさいたま市教育 はどうあるべきか

○公立学校の果たす役割を再確認

○教育委員会新時代→スペシャリストの力を借りる

→「未来」を見据えチャレンジし続ける教育委員会
でなければならないことを再確認